

広報

# かつやま

Katsuyama City News Letter



4月号

No.546

平成13年4月12日発行

残雪の山野に輝く  
黄金の花弁

CONTENTS

平成13年度 当初予算

ふるさとルネッサンスの集い

議会報告

情報ボックス

ミチノクフクジュソウ (4/6 北谷町木根橋)

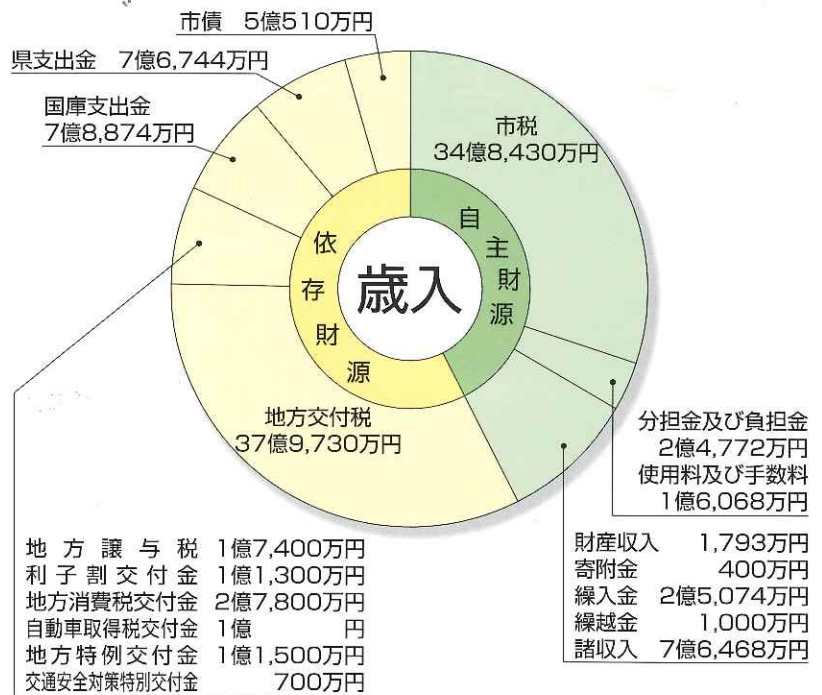
# 新しいまちづくり展開

## エコミュージアム構想

### ルネッサンス事業 導入

平成13年度の一般会計予算は、前年度比8・0%減の115億8563万円で、介護保険や下水道の特別会計と下水道の企業会計を含めた全体予算は、218億3218万円（前年度比8・4%減）となりました。

今年度は、「ハードからハートへ」をコンセプトに、ふるさとの新たな創生を目指し、「ふるさとルネッサンス事業」と、勝山市全体を博物館として捉える「エコミュージアム構想」をまちづくりに取り入れていきます。特に、人や環境に配慮した事業を展開するとともに、ふれあい市民との交流を積極的にすすめていきます。



**一般会計**  
**115億8,563万円**

# 平成13年度 当初予算

## “ハードから ハートへ”

まちの発展を施設や建物をつくるばかりでなく、みんなが知恵を出し、創意と工夫が活かされるまちづくりに

### 総額 218億3,218万円

### 平成13年度予算

前年度比増減 (%)

一般会計	115億8,563万円	- 8.0
特別会計	96億7,104万円	- 3.6
企業会計	5億7,551万円	-52.1
合計	218億3,218万円	- 8.4

### 一般会計

#### 歳入

市税においては、依然として景気回復の兆しが見えないことから、個人市民税所得割が前年度を下回り、1・4%の減となっています。

一方、国の交付税方針が変更されたことなどにより（基準財政需要額の一部を臨時財政対策債に振り替える措置が講じられること、国勢調査等の結果に基づくことによる）、地方交付税が減額になっています。

また市債では、発行額を可能な限り

### 特別会計 96億7,104万円

区 分	予 算 額
温泉センター会計	1億1,663万円
市有林造成事業会計	1億 556万円
育英資金会計	4,908万円
国民健康保険会計	21億7,129万円
老人保健会計	33億4,036万円
農業集落排水事業会計	3億2,476万円
土地区画整理事業会計	50万円
下水道事業会計	16億8,785万円
簡易水道事業会計	1億9,417万円
介護保険会計	16億8,084万円

### 企業会計 5億7,551万円

企画事業会計	5億7,551万円
--------	-----------

#### 歳出

縮減したことにより、前年度当初予算に比べ、4億5,240万円の減額、率にして47・2%の減となっています。これは、市債償還額よりも借入額を少なくすることによって市債残高の減少を図り、後年の財政負担を軽減するとともに、財政の健全化を目指すものです。

歳出では、今年度においても経常的物件費についてはゼロシーリングとしたほか、特別職報酬の改定見送りや管理職手当の10%削減など、経費の節減を行いました。投資的経費では、火

### 特別会計

特別会計は、老人保健会計や下水道事業会計の減額などで、96億7104万円（前年度比3・6%減）となりました。

企業会計は、第6次拡張事業の完了により、前年度より52・1%少ない5億7551万円となっています。

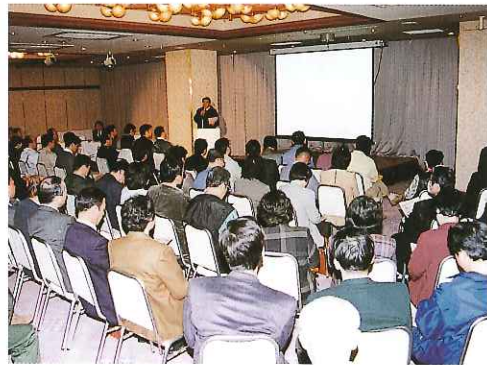
葬場事業や長尾山総合公園事業（ふるさとづくり分）などの大型プロジェクト事業が完了したことにより、37・3%の大幅減となっています。

## 市民が参加する21世紀の 夢のあるまちづくり

◎ふるさとルネッサンス事業	541万円
ふれあい市民制度等事業費	857万円
◎「市民の声」ボックスの常設	11万円
◎例規集等データベース化事業	479万円
◎ISO14001認証取得事業	525万円
◎市民会館・教育福祉会館LAN構築	391万円
◎市勢要覧作製事業	300万円
◎情報化推進事業	111万円
◎特色ある地域づくり・NPO設立助成	110万円
◎男女共同参画行動計画策定準備	28万円
◎「恐竜王国・勝山」推進事業	425万円
ふれあい交流館管理運営費	1億1,988万円
アスペン市友好都市交流事業	226万円

## ルネッサンス事業を推進

新しいまちづくりの手法として導入する「エコミュージアム構想」を市民とともに研究するとともに、県外に住む出身者らとの交流を深める「ふるさとルネッサンス事業」に本格的に取り組んでいきます。勝山市ふれあい交流館「勝山ニューホテル」は、同事業の中核施設として位置づけ、宿泊機能と飲食機能等を含めた公共施設として引き続き活用してまいります。さらに、ふるさと産品などを発送する「ふれあい市民制度」等の事業も継続します。



▲市民と意見交換する「ふるさとルネッサンスの集い」

市役所本庁等で国際環境規格「ISO14001」の取得（14年予定）のための環境整備を図ります。また、ハイブリッドカー1台を購入します。IT関連では、庁舎内のLAN（コンピュータ情報のネットワーク）を整備する一方、市のホームページをリニューアルして、インターネットを活用した行政情報の公開等についての研究をすすめます。

「恐竜王国・勝山」推進事業として、恐竜化石発掘の関係自治体と恐竜サミットを計画。恐竜のまちづくりを推進する市民ネットワークを形成するとともに、恐竜をメインテーマとした（仮

称）「恐竜文化まつり」を開催します。



▶今年の夏も予定されている、子どもたちに人気の化石発掘体験

## 健康づくりと長寿対策

高齢者関連では、介護保険事業とは別枠で、寝たきりのお年寄りの状態悪化を防止する「生活支援事業」と、健康で生き生きとした老後の生活を支援する「介護予防・生きがい活動支援事業」に取り組んでいきます。さらに、高齢者を家庭で介護する家族を支援する介護教室や交流事業を行います。また、ひとり暮らしのお年寄りの安否の確認と相談業務を充実させるため、受信センターとお年寄りの家を直結する「緊急通報システム」を整備します。



▲高齢者の生きがい活動は、長寿対策の柱

## 少子・長寿化に対応した 人にやさしいまちづくり

◎心身障害児（者）紙おむつ支給事業	83万円
高齢者等の生活支援事業	433万円
介護予防・生きがい活動支援事業	1,844万円
家族介護支援事業	1,153万円
第3子以上乳幼児医療費支給事業	3,225万円
第3子以上育成奨励金	1,604万円
障害者介護等支援サービス体制整備事業	314万円
◎緊急通報システム整備事業	324万円
地域福祉バス事業	2,611万円
◎介護サービス適正実施指導事業	73万円
障害児保育促進事業	446万円
延長保育促進事業	1,735万円
◎いきいきかっちま健康チャレンジ事業	768万円

障害者関連では、これまで高齢者を対象としていた紙おむつ給付事業を心身障害者にも拡大するとともに、障害者の在宅介護を支援する体制整備を図ります。

高齢者の外出機会の増加と社会参加の促進を目的に12年度から実施している「地域福祉バス」は、市内8路線の利用者補助を継続するほか、市内循環バス「きらめき号」の運行回数増加とルートの延長を予定しています。

生活習慣病を予防する健康づくり事業としてウォーキングを奨励し、「100日間ウォーキングチャレンジ事業」と記念事業（5月）を開催します。

第3子以上乳幼児育成奨励金支給や



▲昨年運行を始めた福祉バス「きらめき号」は運行回数を増やします

保育環境整備など、子育て支援策も継続していきます。

地場産業振興を図るため、商品を広くPRし、東京や大阪など消費地で実施される物産展へ出展する販売促進事業と、経営者や技術者を育成する人材育成・技能向上事業を支援します。さらに、「繊維産業活性化支援事業」により、若手デザイナーの育成等を図り、繊維産業の活性化を支援します。また、「新事業創出（ベンチャー企業等）支援事業」を創設し、補助制度を設けます。

## 産業基盤の充実図る

## 産業とまちのにぎわいなど 若者に魅力あるまちづくり

水田利用合理化事業	2,155万円
低コスト集落農業条件整備事業	1,150万円
◎中山間地域総合整備事業基本構想策定	200万円
◎農地流動化総合推進事業	180万円
林業地域総合整備事業	5,988万円
◎就業機会開発推進事業	50万円
◎販売促進支援事業補助金	20万円
◎人材育成・技能向上事業補助	20万円
◎空き店舗対策モデル事業	150万円
◎商工業政策推進事業	300万円
◎新事業創出（ベンチャー企業等）支援事業	
	〈予算化は次年度〉
工業振興助成金	302万円
◎繊維産業活性化支援事業	100万円



▲昨年京都駅で開催した和紙布のファッションショーは話題を呼びました。

商店街活性化事業として「空き店舗対策モデル事業」を導入。また「商業政策推進事業」により、自らの創意工夫と新たな発想に基づいて実施する事業を支援します。「就業機会開発推進事業」により、高齢者の就業機会の拡大の支援をします。

農業関連では、「農地流動化総合推進事業」により、農業公社の農地保有合理化事業の活用を図るとともに、担い手農業者の経営を支援します。また鹿谷地区を対象に、中山間地域総合整備事業基本構想を策定し、農業経営の合理化と農村生活の環境改善を目指します。



▶商店街活性化事業を支援します  
(写真＝本町商店街ギャラリー)

## 東部地区等で農集排調査・設計

13年度中に最終結論が出されることになった京福電車関連では、引き続き各種利用促進事業をすすめるとともに、県と沿線市町村による行政支援を行います。また、学校等が電車を利用して恐竜博物館を訪れる際に、勝山駅と恐竜博物館を結ぶ無料の送迎バスを運行します。

長尾山総合公園は、国の補助を受けて散策道路の整備など、一期事業分の公園整備を行います。



▶京福電車の各種利用促進事業を継続します

## 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり

京福電車利用促進事業	6,990万円
◎恐竜博物館送迎バス運行事業	60万円
生活路線バス運行維持費	2,975万円
長尾山総合公園整備事業	2億7,094万円
中部縦貫自動車道建設促進事業	3,722万円
◎流雪溝整備事業（臨時交付金事業）	2億円
◎公営住宅ストック総合計画策定事業	800万円
◎はしご車保守点検業務	2,000万円
◎消防本部発足40周年記念事業	77万円
防災まちづくり事業（防火水槽、消防ポンプ）	1,608万円
廃棄物対策諸経費（リサイクル事業等）	1,912万円
廃棄物処理対策事業（ごみ処理）	2億2,148万円
◎農業集落排水事業（東部地区調査設計等）	7,970万円

生活関連事業として、市街地の流雪溝を整備するほか、市道の水路改良工事などをすすめます。また、防災まちづくり事業では、防火水槽3基と消防ポンプ3台を整備します。

ごみ処理関連では、ごみの減量化とリサイクルを推進。可燃性ごみ、資源ごみを他自治体に処理を委託する一方、広域事務組合ですべてのごみ処理施設の早期完成に向けて取り組みます。

農業集落排水事業（農村部での下水道整備）で、東部地区（平泉寺町）と伊知地・坂東島地区で事業実施のための調査・設計業務を行います。



▶リサイクル活動を推進します

## 新助役 中村重夫氏



島田英博助役の辞職（2月28日付）に伴い、中村重夫氏（前建設部長）が4月1日付で新助役に就任しました。任期は4年。（3月議会で新助役として選任同意）

**経歴等** 60歳 =元町3丁目= 昭和34年  
勝山市役所入所、体育課長、開発課長、都市建設課長、建設部長  
平成13年3月末退職

## 新教育長 山 範男氏



小寺武夫教育長の任期満了（1月25日付）に伴い、3月26日に開催された臨時教育委員会において山範男氏（同日、教育委員に就任）が新教育長に任命されました。

**経歴等** 58歳 =片瀬= 昭和40年  
上庄中学校教諭、平泉寺小中学校、勝山高等学校、大野高等学校  
平成11年 勝山高等学校校長  
平成13年3月退職

なお、教育委員長には佐野瑞円氏（62）=鹿谷町矢戸口=が選任されました。

## 誰もが学び心が通う ふれあいのまちづくり

## 白山文化シンポジウム開催

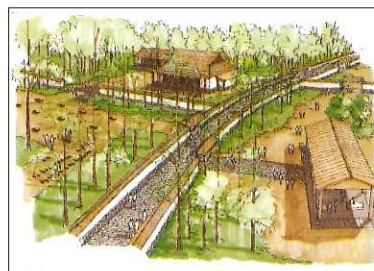
◎南部中学校大規模改修設計業務	228万円
◎給食拠点化推進事業	198万円
◎教育用コンピュータ整備事業	1,353万円
「総合的学習の時間」事業	344万円
遠距離通学補助	198万円
青少年育成事業費（適応指導教室）	464万円
◎IT講習推進特例交付金事業	950万円
◎（仮称）白山文化シンポジウム	68万円
史跡公有地化事業（白山平泉寺旧境内）	5,239万円
郷土芸能施設整備事業	150万円
ふるさと芸能活性化事業	60万円
恐竜のまち構想事業（恐竜教室等）	730万円
スポーツライフ推進事業	307万円

学校の施設整備事業として、耐震診断結果に基づき、南部中学校南館の大規模改修のための実施設計を行います。成器北幼稚園では、12年度に引き続き園舎の大規模改修工事を行います。

3中学校にコンピュータ40台（生徒1人1台）を整備するとともに、校内LANを構築します。また新年度より、野向小学校の給食は村岡小学校から運搬する方式を採用。専用の公用車と食



▲中学校のコンピュータを一新。IT学習環境を整えます。（写真は成器南小）



▲白山平泉寺旧境内の史跡整備の理解を深めるためシンポジウムを開催します。

学校を整備します。

生涯学習関連では、公民館と図書館で12年度に整備したコンピュータを活用してIT講習会を開催。伝承芸能を掘り起こす「ふるさと芸能活性化事業」により、地域文化活動を支援します。

国史跡「白山平泉寺旧境内」で、史跡整備のための公有地化を引き続きすすめるとともに、（仮称）「白山文化シンポジウム」を開催し、史跡整備の理解を求めていきます。



第2回みんなで語ろう「ふるさとルネッサンスの集い」が3月30日、勝山市ふれあい交流館「勝山ニューホテル」で開催されました。市民約160人が参加。今回は「エコミュージアム構想について」と題して、コンサルタント会社を経営する澤近十九一氏による講演が行われました。

最初にあいさつに立った山岸市長は、「勝山のイメージは、恐竜や平泉寺などたくさん素材があって、一つのものだけを取り上げると、ほかが見えなくなってしまう。エコミュージアム構想は、『屋根のない博物館』、『地域丸ごと博物館』にしようということである。地域住民が『学芸員』になっ

て勝山の歴史や文化を見直し、誇りと

## エコミュージアム構想とは ふるさとルネッサンスの集い 第2回

自信を回復して勝山市の活力につなげていきたい」と話しました。

澤近氏は、既存のお店などにコレクションを展示して市内に100軒の博物館を作ったという自治体の例や、廃校になった小学校を活用して紙すき体験でにぎわっているといった事例を紹介。「都市計画の最近の流れの中で、エコミュージアムが評価され始めた。『古いものをたいせつにする』、『地域にある素材を使ってまちづくりをする』ことが必要である」と力説するとともに、勝山にもその素材があることを評価しました。

また澤近氏と山岸市長は、「住民が主体になると、おもしろくなってくる」、「自分たちでまちをつくらせていくという覚悟が必要である」と話し、

事業への市民参加を呼びかけました。

「ふるさとルネッサンスの集い」は、市民との対話をおして政策や事業を検討し、市政運営とまちづくりに生かそうと2月から開いているもので、今回で2回目になります。

次回の集いはゴールデンウィーク明けに予定しています。ぜひご参加ください。

## ルネッサンス事業に100万円寄付

### 東京勝高会会長 山内高嘉さん

このほど、東京勝高会会長の山内高嘉さん（野向町出身）が、「ふるさと



ルネッサンス事業』に役立ててください」と、勝山市に100万円を寄付しました。これを受け4月2日、勝山市役所で山岸市長が山内さんに感謝状を贈呈しました。

山内さんは、「自然の恵みを市の活力に生かして行ってほしい。里芋を味付けして都会へ出荷してはどうか」など、ルネッサンス事業へのアイデアも提案。山岸市長は「すばらしい意見をいただいてありがたい。できることはすぐにでも実行したい」と話し、寄付金を有効に活用することを約束していました。

## ふるさとルネッサンス推進委員の募集

未来創造課（☎内線233番）

「ふるさとルネッサンス事業」を市民と一緒にすすめていくため「ふるさとルネッサンス推進委員会」の委員を募集します。

**業 務**▶ ◎関西勝山会・東京勝山会等の推進窓口との定期的な打合せ  
◎打合せ等で出された意見や情報を基に、さまざまな事業の企画および協力

**対 象**▶ 市内にお住まいの18歳以上のかた

**募集人員**▶ 若干名

※まちづくりに関するレポート（400字程度）を添えて応募してください。

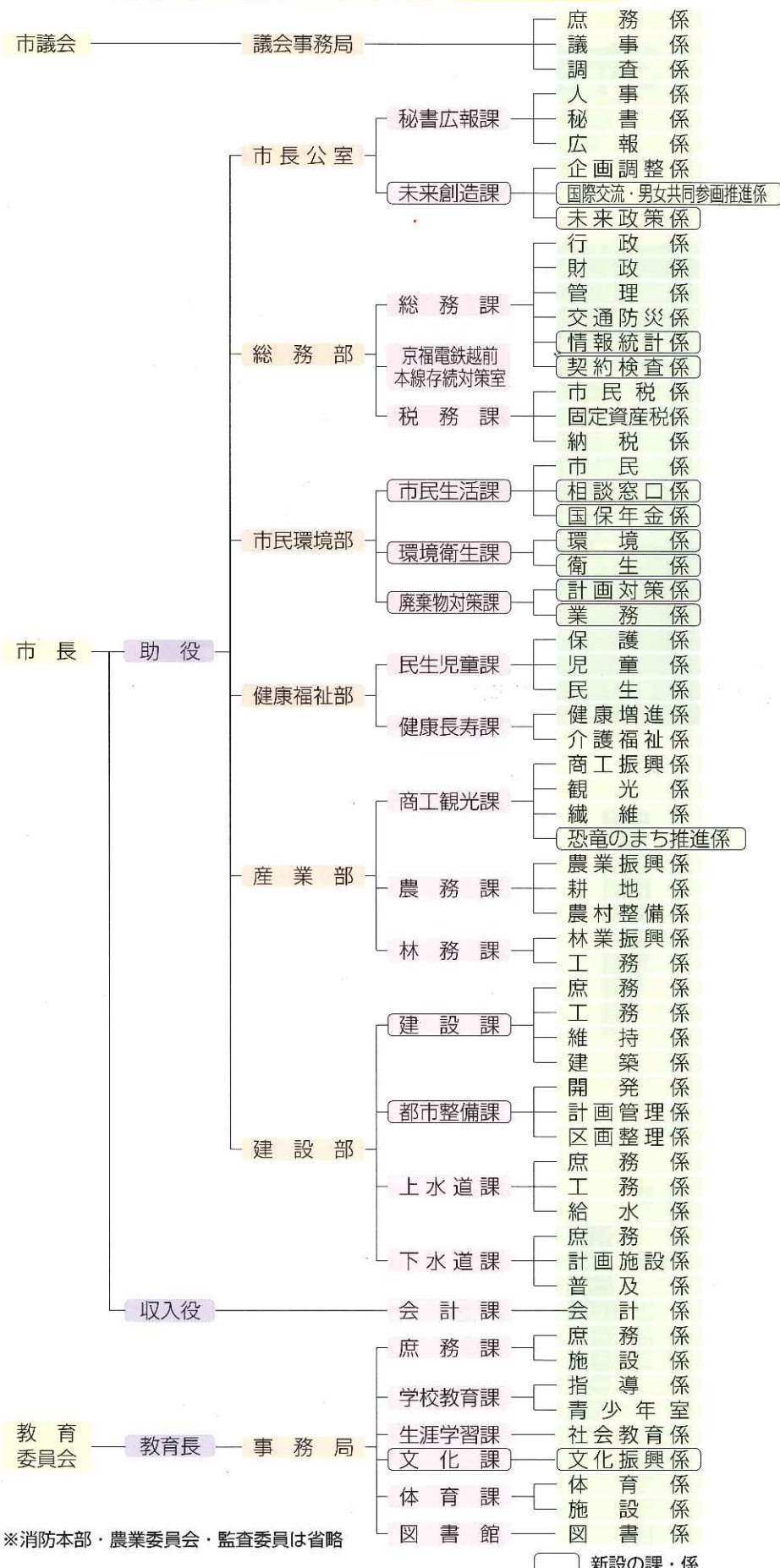
**申込期限**▶ 4月20日（金）

### 「ふるさとルネッサンス事業」

勝山市出身者やふれあい市民との交流を深め、文化・産業の新たな展開をはかり、魅力あるふるさとづくりを目指します。



# 勝山市行政機構



※消防本部・農業委員会・監査委員は省略

□ 新設の課・係

## 4月から機構改革

### 主要施策推進目指す



勝山市では、主要施策の推進と事務の効率化および市民サービスの向上を図るため、新年度より機構改革を行いました。

企画課は、新施策のEコマース事業を△構想とふるさとルネッサンス事業を△押しすすめるため、未来創造課に再編しました。また、IT推進施策の具体

化に向け、総務課に情報統計係を設置しました。  
市民福祉部は、市民環境部と健康福祉部に分割し、市民課は市民生活課に改め、保健衛生課の環境衛生部門を環境衛生課と廃棄物対策課に分割しました。市民生活課は、消費者相談および行政案内窓口サービスの向上を図り、環境衛生課と廃棄物対策課は、当面する環境問題への対応を図っていきます。

さらに、福祉事務所は、民生児童課と健康長寿課に分割するとともに、市民の健康増進を担当する部署を統合しました。  
産業部商工観光課には、「恐竜のまちづくり」を展開するため恐竜のまち推進係を、また、Eコマース事業の大きな柱をなす白山平泉寺史跡などの文化財の保存保護と活用を図るため、文化課を新設しました。

# 平成13年度予算案など 36件を可決



3月定例会市議会が3月2日から23日までの日程で開催されました。平成13年度予算など議案36件を可決、陳情2件を採択、意見書1件を可決しました。また、助役の選任と、教育委員2名の任命に同意しました。  
3月7日と8日に、代表質問と一般質問が行われました。

## 決まった主な内容

### 予算

平成13年度一般会計予算を115億8563万円、特別会計を総額96億7103万7千円、企業会計の水道事業会計を5億7551万7千円としました。(予算特集に詳細掲載)

また、平成12年度補正予算も可決。一般会計は1億3500万円減額し30億6276万2千円としました。特別会計は1億6548万8千円増額し102億1671万円に、水道事業会計は1億283万7千円減額し1億1309万円としました。

### 条例改正等

- 部等設置条例等の一部改正。「行政組織機構の改編にともなう」
- ふるさとルネッサンス基金条例「ふるさとルネッサンス事業の推進を図る」
- 勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部改正「公職選挙法の一部改正による」
- 火災予防条例の一部改正「建築基準法施行令の一部改正等による」
- 損害賠償の額の決定及び和解「公用車による交通事故」
- 廃棄物の処理及び清掃に関する条例

の一部改正「特定家庭用機器再商品化法の施行による手数料の改定」

● 乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正「助成拡大を図る」

● 字の区域の変更(柘神谷)「土地改良法に基づく区画整理事業施行による」

● 手数料条例の一部改正「鳥獣保護及び狩猟ニ関スル法律」の市町村への事務委譲による」

● 市議会政務調査費の交付に関する条例の制定「議会の機能強化、調査活動基盤の充実を図る。調査費の増額。(議員提案)」

● 市議会委員会条例の一部改正「行政組織機構の改編に伴うもの」

### 選任等(同意)

助 役 中村重夫(60) 元町3丁目  
教育委員 山 範男(58) 片瀬  
平泉隆房(47) 平泉寺町平泉寺

### 議会委員会の設置

● 「道路対策特別委員会」と「環境対策特別委員会」を廃止し、「国道416号整備促進特別委員会」を設置。

今回より、代表質問及び一般質問の要旨は、重複する答弁をまとめて内容別に掲載しています。

代表質問

新市長の施政方針は

ふるさとルネッサンス事業

(答) ふるさとルネッサンス委員会は、これまで交流事業に携わってきた団体やまちづくり熱意のある市民で構成し、各種の事業を推進していただこうと思っている。熱意ある人たちがもてなしの心をもってこの事業を推進できるように、市としては時には主導的に、時には裏方で支援していきたい。これまでのふれあい交流事業のデータを基礎に、さらに関西勝山会などの交流を深め、広範な事業推進に努めたい。「ふるさとルネッサンス講座」により、市民を対象にした公開講座と、ふれあい市民を対象にした滞在型カルチャー講座等を企画する予定である。

エコミュージアム構想

(答) エコミュージアム構想は、まちづくりの資産を連携させ、地域まるごと博物館をを目指すものである。まちに愛着をもち、自然、歴史、伝統文化、あるいは物産、人的ネットワークといった地域の資源を再発見し、いかに磨きをかけるかがエコミュージアム形成の重要課題である。食文化、まつり文化でのネットワークも考えられる。

健康福祉センター

(答) 市内のある公共施設の活用を検討している。

長尾山公園

(答) 一期区域の約60%を、楽しい憩いの公園として夏場をめぐりに供用開始したい。1期事業区域の残るエリアについても15年度をめどに整備していきたい。市の財政力の状況では、一気に多額の費用をかけて取り組むことはできない。長尾山は体育施設の用地選択肢の一つとして考えている。費用、

基本政策の主眼

用地、ロケーション(場所のよし悪し)、完成年次などを勘案し、2期事業について検討をすすめていきたい。

(答) 財政健全化の指針として活用する

ために「中長期財政計画」を策定した。弾力的、機動的な財政運営に努めていく。「ハードからハード」を基本的な考え方におき、数多くのソフト事業(制度の新設やまちづくり事業)を盛り込み、将来につながる数多くの新規事業を立ち上げた。市民に開かれた市政の推進を図るべく、情報公開とともに市政への市民参加をすすめていく。

定住政策

(答) 定住策と地場産業の活性化、とりわけ新産業の創出による魅力ある職

場の確保が必要である。産業の活性化に積極的にとり組み、子育て支援や車利用者への通勤補助などの定住施策も継続していく。安価な宅地供給や市営住宅整備も検討していく。

広域行政・市町村合併

(答) 「広域で取り組んだほうがよいものは広域で」という立場を守る。市町村合併については市民並びに議会の熟度が高まった段階で検討していきたい。

教育行政

(答) 豊かな自然と恵まれた歴史的、文化的遺産を教育の中に組み込むことが重要である。教育の今日的課題に対応するためには、さらに家庭、地域、学校が一体となった教育システムを再構築する必要がある。21世紀を豊かに、

代表質問

明政会 藤澤七郎兵衛議員

1. 新市長の施政方針に関連して次の点を問う。
  - ①人口問題と少子高齢化対策について。
  - ②ふるさとルネッサンス事業とエコミュージアム構想について。
  - ③地方分権時代における広域行政の取り組みについて。
  - ④これからの教育行政について。
2. 当初予算に関連して次の点を問う。
  - ①健康福祉センター建設計画について。
  - ②生活道路等改修費の増額について。
  - ③長尾山総合公園事業の推進について。
  - ④除雪体制の確立について。
  - ⑤住民基本台帳ネットワークシステムについて。
  - ⑥IT時代における個人情報の保護について。
3. ごみ対策について。
  - ①クリーンセンターの取り壊しについて。
  - ②広域ごみ処理施設について。
4. 京福電鉄越前線の存続について。
  - ①行政支援3年間の検証について。
  - ②活性化協議会の内容と、平成13年度以降の行政支援及び運営形態について。

湧智会 笠松捷多朗議員

1. 基本政策の主眼と財政計画について。
2. ふるさとルネッサンス事業の市民参加と支援体制について。
3. エコミュージアム構想の具体化への脚本づくりについて。
4. 九頭竜川等の河川をうるおいあるものにするために。
5. 校内暴力等の具体策について。
6. アスペン音楽祭のありかたについて。

たくましく、創造的に生き抜くことができる人づくりを推進していきたい。

### 住民基本台帳

#### ネットワークシステム

(答) 全国共通の本人確認のためのシステムである。本年中にシステムの改修と窓口端末の整備を行い、平成15年8月の住民基本台帳カード等の施行に向けた構築をすすめたい。国の個人情報保護基本法の趣旨に沿い、個人情報報の処理等に関する必要な条例及び施策の整備を検討したい。

### クリーンセンター取り壊し

(答) 国の解体作業方法と手順の発表を待って、早期に解体撤去をすすめていく。工法及び工事費等の予算を、4月中に示せるよう努力する。

### ごみ処理施設建設

(答) 平成14年12月の操業はたいへん難しい状況になってきている。広域事務組合で、勝山市のごみ処理の対応について検討している。市としても、他自治体への依頼などの交渉も含めて対応していきたい。13年度は県内の3自治体に3250トン、年末年始、3連休中に発生する約2000トンについては、県外の民間施設にお願いする計画である。また、可燃性粗大ごみの約3000トン、焼却場での処理する計画である。

### 京福存続

(答) 13年度中に需要量や第3セクター方式の、メリット、デメリットなどを調査し、京福越前線の長期的なあり方について最終結論を出す必要があるということと合意している。13年度は現行の利用促進策と経営安定策の補助金方式で行う。

### 河川環境整備

(答) 美しく潤いのある川づくりは、これからの勝山にはたいへん貴重なものである。市内各所の川にごみが捨てられ、たいへん心痛く思っている。投げ捨て防止と美化運動を展開し、美しい川づくり、保持に努めていきたい。

### 校内暴力対策

(答) 2月に「生徒指導にかかわる関係機関会議」を開催し、警察、家庭裁判所、県教育委員会などの密接な連携、協力体制の強化を確認した。また地域ぐるみで暴力を許さないという社会風土を醸成するとともに、家庭において社会で生きていく人間を育てるといふ社会的責任について、PTA活動等の機会をとらえて自覚を促していきたい。

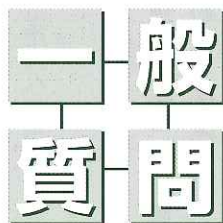
## 一般質問

### 山田安信 議員

- 1.日本の構造的危機の深まりと地方自治のあり方について。
- 2.中長期財政計画と矛盾する予算について。
- 3.総合計画と長尾山開発の見直しについて。
- 4.ふるさとルネッサンス、エコミュージアム構想とホテル経営について。
- 5.公共料金値下げなど市民負担軽減について。
- 6.ゆきとどいた教育の推進について。

### 椿山 弘 議員

- 1.人口増と産業振興の具体的な戦略について。
- 2.政策評価システムの導入について。
- 3.まちなか活性化への具体策について。
- 4.教育問題に関連して次の点を問う。
  - ①人として生きる基本理念について。
  - ②家庭教育とマナー教育(しつけ)について。



## 諸施策の考えかたは

### 中長期財政計画

(答) 市民を対象とした新規のソフト事業もいくつか計上している。初めての予算編成なので大きな事業は組んでいないが、4年間で「まいた種」(新年度予算に組み込んだ事業)が育っていくものと信じている。

### ホテル経営

(答) ホテル事業は波及効果などから、市民にとって無駄だとは思っていない。ホテルは地域経済の振興に確実に寄与している点をご理解いただきたい。

### 公共料金値下げ

(答) 今後、医療費の推移や国の動向を見ながら、国民健康保険の基金の取り扱いと適正な賦課のありかたについて、関係機関とじゅうぶん協議したい。

### 高校統廃合

(答) 市や生徒の将来にわたり、よりよい方法を示し、県とじゅうぶん折衝していきたい。

### 政策評価システム導入

(答) 全国の自治体での取り組みは、